

産官学民で考える、VUCA時代に求められる グローバルな資質・能力

※VUCAとは・・・変動性(Volatility)、不確実性(Uncertainty)、複雑性(Complexity)、
さらに曖昧(Ambiguity)という現代の特徴を言い表す言葉

参加費
無料

日時 2023年1月24日(火) 14:30~16:00

形式 オンライン

主催 愛媛大学国際連携推進機構 後援 愛媛経済同友会



■ 挨拶：光信 一宏（愛媛大学副学長・国際連携推進機構機構長）

■ 進行：隅田 学（愛媛大学学長特別補佐・国際連携推進機構副機構長）

話題提供1 中山 晃（愛媛大学教育・学生支援機構英語教育センター 教授）
「国際感覚を持った人材とは？グローバル・コンピテンスの構成要素の再考」

話題提供2 中堀 宏彰氏（独立行政法人国際協力機構評価部事業評価第二課 課長）
「多様な力を結集して世界の課題解決に取り組むために」

話題提供3 濱田 大三氏（愛媛経済同友会会員企業仙味エキス株式会社研究開発部）
「オックスフォード大学で知ったグローバルな教育研究環境」

話題提供4 園部 ニコル氏（西九州大学国際交流センター副センター長）
「The gap between ideals and the reality of global competence education」

※講話終了後、参加者間で質疑応答・意見交換を行います。

パネリスト



愛媛大学教育・学生支援機構
英語教育センター 教授
中山 晃

愛媛大学教育・学生支援機構英語教育センター教授(副センター長)、博士(教育学)。平成26年度より、愛媛大学SEA(Study English Abroad)プログラムを企画・開発し、学生の英語圏での研修・留学を支援している。



独立行政法人国際協力機構
評価部事業評価第二課 課長
中堀 宏彰氏

2000年国際協力事業団(現国際協力機構)入団。北海道国際センター(帯広)、農村開発部、国際協力人材部、タイ事務所、民間連携事業部等を経て2020年11月より現職。



愛媛経済同友会会員企業
仙味エキス株式会社研究開発部
濱田 大三氏

1997年阪大理 博士課程修了。同年～2000年、Oxford大学(学振海外特別研究員、Senior Research Fellow)。帰国後、阪大、神大等の研究員・教員(最終:神大工 特命准教授)を経て、2018年(合)BeCellBar 業務執行社員(兼務)。2019年 仙味エキス(株)研究開発部。専門は、医薬系生物物理学・構造生物学。



西九州大学国際交流センター
副センター長
園部 ニコル氏

西九州大学国際交流センター副センター長。健康栄養学科講師。現在、EFL学習者の言語習得を促進するため、多言語主義に焦点を当てた外国語教育について研究している。GCED(地球市民教育)やグローバルコンピテンス教育に関心がある。

愛媛大学国際連携推進機構では、以下のとおりイベントの開催を計画しております。
詳細は決まり次第、公表いたします。

【第2回】日 時：2023年2月17日(金)

テーマ：グローバルチームビルディングを実現するesports ～外国人雇用環境の創出をめざして～

【第3回】日 時：2023年2月24日(金)

テーマ：Study International Fair ～大学生による「留学・研修報告」～(仮題)

お問い合わせ・お申込み

☎ : 089-927-8959

✉ : kokuki@stu.ehime-u.ac.jp

🌐 : <https://forms.office.com/r/9bZrzFF5e8>

参加申込が必要です
1/20(金)〆切 ⇒

